弁証論治ライブセッション

2026 年 9 月 6 日　伊賀文彦

【症例 1】34 歳　女性　　**記入日：**令和 8 年 8 月 19 日

【主訴】生理痛、冷え性、頭痛

【現病歴】

中学生の頃から生理痛がひどく、経血量も多かった。高校生になるとさらに生理痛がひどくなり、嘔吐、貧血で体動困難な事がほぼ毎月あり、大人になるとロキソニンや坐薬も効かず、4 年程前に血圧が 60/40 まで下がり救急搬送。そのまま服薬治療開始。 2 ヶ月程、不正出血が続いたが、現在はなし。もともと全身多汗ぎみではあるが、服薬を始めてから季節や温度に関わらず汗の量が増えた。

又、冷え性もひどくなり、冬になると腹部、腰部、下肢にかけて冷たく、何をしてもなかなか温まらず、冷えすぎて辛いことが多い。天候があまりよくない時には、こめかみから頭頂部にかけて脈をうつようなズキズキとした痛みが続く。ひどくなると感覚過敏になり、普段であれば気にならない会話やテレビの音も響いてしまい、とても辛いことが時々ある。

【既往歴】

子どもの頃、魚貝類を食べたり、お風呂に入ると蕁麻疹が臀部～下肢にかけてできていた（ほぼ毎日）。現在は上記症状なし。

【問診票】

全般的な症状：暑がりである　頭がのぼせる・ほてる　冷え症　足が冷える（腰腹部～下肢）　汗をよくかく（全身）　疲れやすい　顔・手・足にむくみがある

頭部・顔面について：頭痛がする（側頭部・頭頂部、天気が悪い日・くもりの日）　光がまぶしく、時々感覚過敏になる（音・光）　鼻がつまる（右だけ）　痰が出る（白いか透明）　唇がひび割れる

食事について：食欲は旺盛ですぐに腹が減る　食事の量は多い　アルコールは飲む（付き合い程度、レモンサワー）　のどが渇き、冷たいものをたくさん飲む　好きな味は甘いもの、辛いもの、酸っぱいもの、塩辛いもの　嫌いな味は苦いもの

腹部について：食後ねむくなる　痔がある（手術済）

背部について：肩が凝る　腰が痛い　ぎっくり腰がある

便について：便通は 1 日 1～3 回　便秘と下痢を繰り返し、軟便～下痢が多い　残便感がある

皮膚について：皮膚が乾燥している　あざができやすい　湿疹がある（手）　冬期に増悪する　魚貝類に対してアレルギーがある　アルコール消毒などで手指に湿疹ができやすい

気分について：気分が落ち込みやすい　悩みやストレスが強い　不安感が強い

睡眠について：時々眠れない（考え事をして、疲労感で、イライラして）